新しい栄中学校整備の考え方（案）について

新しい栄中学校整備の考え方（案）

新しい学校検討趣旨

栄中学校の建替えは、単なる老朽化による建替えのみで進めてよいのか。
栄中学校周辺の特性を活かした学校整備をするべきではないか。

栄中学校の課題

1. 昭和３８年に建設され、雨漏りや配管の漏水が多く老朽化が顕著。
2. 施設の課題解決のためには、学校全体の建替えが必要。
3. 幼保小中を一貫した学校教育のさらなる充実。

充実
強化

価値向上

多くの文教施設を有する栄中学校区から、
草加の教育環境の充実と
草加市全体のまちの価値向上へ

草加市のコミュニティブロック
※第四次草加市総合振興計画より抜粋

多くの文教施設を有する栄中学校区の特性を活かした学校の整備により、
『だれもが幸せなまち 草加』の実現へ！

新しい栄中学校整備の考え方（案）

新しい栄中がもたらす

まちの将来像

『草加の未来につながる学びのまち』

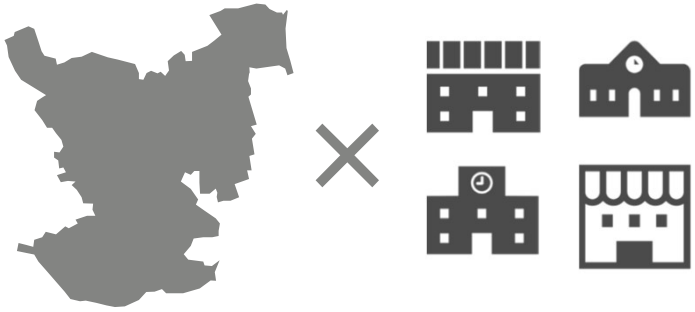
栄中学校区が持つポテンシャル（多くの文教施設）を活かした学校整備や、先進的な取組を積極的に実践することにより、エリアの魅力アップにつなげ、その効果を**草加市全体に波及**させていく、草加の**教育の"発信地"**となることを「まちの将来像」として掲げます。

この「まちの将来像」を実現するため、次の３つのビジョンに基づき、栄中学校の基本構想・基本計画の策定に向けた検討を進めます。

vision 1 **「みんなとつながる」学校**

vision 2 **「地域とつながる」空間**

vision 3 **「世界とつながる」拠点**



SDGs未来都市 SOKA